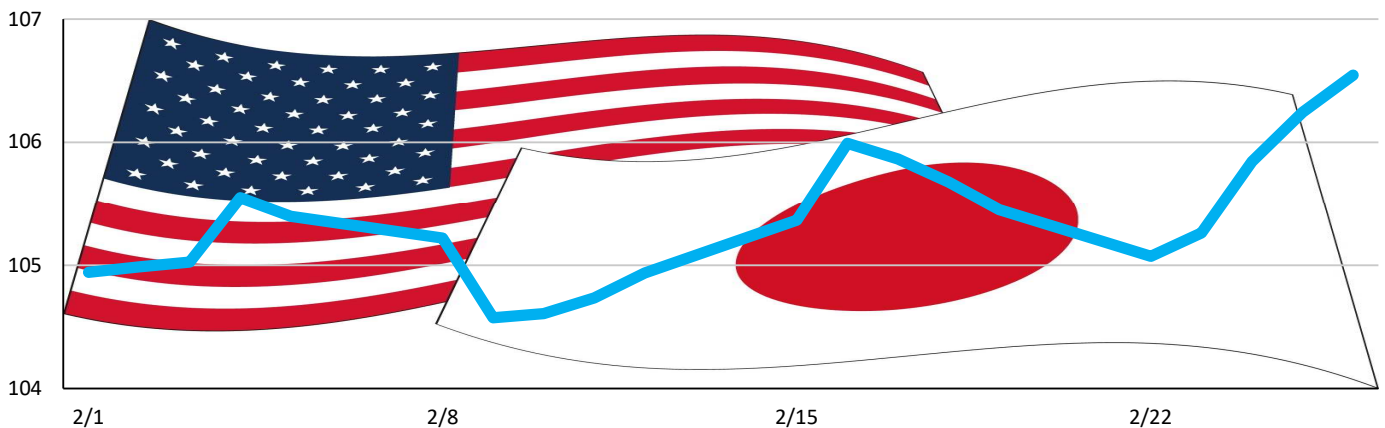


MARKET REVIEW

先月の振り返り：2月のドル円相場は104円半ば～106円後半で推移。雇用統計の結果はさえないかったものの、この結果をきっかけに米国追加経済対策の期待感が高まったこともあり、105円台後半までドル高が進んだ。ところが米当局者のハト派発言やパウエルFRB議長の緩和的な金融政策が必要との発言が重しとなり、ドル円は104円台半ばまで値を崩す結果になったが、月中には良好な米経済指標もあり他通貨による対ドル売りの流れが一服したことでドル買いが優勢となり、ドル円は一時106円台前半を回復した。106円台を達成したことでやや利食い売りが見られたものの、月末にかけてNYダウやビットコインの急落、ユーロやポンドなどのリスク選好通貨への売り圧力が強まったことで、ドル円は一段高の展開で2月を終えた。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開：これまでマーケットをけん引してきたユーロやポンド、オセアニア通貨などの上昇に一服感が出てきたことで、マーケットのリスク選好ムードが縮小してきた。これまでマーケットの後押しとなった金融緩和もコロナワクチン接種の効果が期待でき経済活動が回復する兆しが見えてきたことで、徐々に金融緩和縮小へ向かうことになりそうだ。対ドルで買われていた通貨を売る状況がドル買いの後押しともなっており、今後のトレンドにも期待ができるのではないだろうか。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
3 / 18 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
3 / 18 (木)	21 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆
3 / 19 (金)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
3 / 25 (木)	21 : 30	US	米GDP確定値	☆☆☆☆
4 / 2 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
4 / 13 (火)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
4 / 15 (木)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。